

# CMS等機能要件一覧

## 【重要度】

「必須」：必須要件

「推奨」：可能な限り実現を希望する要件

## 【記入欄】

「◎」：標準機能として現時点で対応可能

「○」：標準機能として対応可能予定

「△」：オプション・カスタマイズで対応する

「□」：代替案で対応する

「×」：対応できない

## 【注記】

・重要度「必須」項目が、1つでも対応できない場合は失格とする。

・重要度「推奨」項目が、対応するとした場合（記入欄「◎」「○」「△」「□」）は提案費用内で実現すること。

・記入欄「△」の場合、備考欄にオプション、または、カスタマイズのいずれであるかを記載すること。

・記入欄「□」の場合、備考欄に具体的な実現方法を記載すること。

## 基本要件

区分	No.	内容	重要度	記入欄	備考
システム全般	1	職員が利用する端末から、仮想ブラウザ（RevoWorks SCVX）を介して専用ソフトウェアをインストールすることなくCMSを利用できること。 仮想ブラウザ（RevoWorks SCVX）での動作保証をしていない場合、審査時に市側で動作検証を行うため、デモ環境や検証用シナリオ等を用意すること。	必須		
	2	CMSへのアクセスについて、グローバルIPアドレスにより接続元の制限ができること。	必須		
	3	CMSは、ID・パスワード認証にてログインできること。	必須		
	4	アカウントを組織（部・課・係等）で割り当てることを想定して、同じアカウントで同時ログインできること。	推奨		
	5	CMSは、ログインするアカウントにより、それぞれの権限に応じた画面が表示されること。	必須		
	6	同一ページを同時に別々のユーザーが更新できないこと。あるいは、更新しようとする時警告が表示されること。	推奨		
	7	CMSの登録アカウント数やページ数の増加による追加費用が発生しないこと。	必須		
	8	CMSサーバの停止により、Webサーバの公開に影響がないこと。	必須		
	9	公開されるWebページは、利用者が以下の各ブラウザで支障なく閲覧できること。（いずれも仕様書公開時点での最新版とする。） ①PCからの閲覧 Microsoft Edge、Firefox、Google Chrome、Safari ②スマートフォン・タブレット等からの閲覧 Android標準ブラウザ、iOSはSafari	必須		
	10	テンプレート等により、サイト全体として統一化されたデザインで作成できること。	必須		
	11	閲覧する機器に応じて最適化されたレイアウトで表示されること。	必須		
	12	データと表示スタイルを完全に分離し、表示スタイルはすべてスタイルシートで管理すること。	必須		
	13	公開されるWebページは、原則HTML Living Standardの規格に準拠してマークアップされること。	必須		
	14	UTF-8の文字コードに対応すること。	必須		
	15	公開サーバに表示されるページは、検索結果ページ等の一部のページを除き、原則としてすべて静的な（X）HTML形式で公開されること。	必須		
	16	1時間に1回以上の頻度で定時又は随時、ページの公開・更新・削除を反映できること。また、対象のページに関連するリンク等の設定も反映されること。	必須		
	17	利用者が存在しないページへアクセスした場合、案内ページを表示すること。	必須		
	18	利用者が画面をA4縦型で印刷する際、内容が損なわれることなく印刷できること。	必須		

カテゴリ	19	カテゴリごとに、配下のカテゴリ及びページのリンクが一覧表示されるカテゴリページが自動的に作成されること。	必須		
	20	ページ作成時に掲載するカテゴリを容易に選択できること。	必須		
	21	作成済みのページを他のカテゴリに容易に移動できること。	必須		
	22	特定のページを異なるカテゴリにも配置したい場合、ページを複製することなく、複数カテゴリにリンクページとして設定できること。	必須		
	23	カテゴリページに表示されるリンクの順番を管理者でなくても変更できること。	推奨		
	24	カテゴリページに表示されるリンク先ページの概要説明を、リンクの下に表示できること。なお概要説明はリンク先ページで設定できること。	推奨		
サブサイト	25	市ホームページと同一のドメイン内にサブサイトを作成できること。	必須		
	26	サブサイトは、指定したアカウントにて管理画面から複数作成できること。	必須		
	27	サブサイト専用のイベントカレンダーが作成できること。	推奨		
	28	1つのサブサイトを複数のアカウントで共同管理できること。	必須		

## ページ作成・編集機能

区分	No.	内容	重要度	記入欄	備考
基本機能	29	Microsoft Word等と同様のツールバーボタン構成等により、職員が直感的にページを作成できること。	必須		
	30	利用できるテンプレートを「権限」または「カテゴリ」ごとに制限できること。	必須		
	31	入力方式について、ワープロソフトのようなWYSIWYGインターフェースと、フォーム入力型インターフェースのどちらかを選択できること。	推奨		
	32	テンプレートの項目には必須項目を設定でき、入力されていないと登録できないこと。（例：イベントテンプレートの日時、場所、会場等を必須項目とする等）	推奨		
	33	上記について必須項目が未入力だった場合は警告を表示し、作成者に修正を促すこと。	推奨		
	34	画像入力パーツ、添付ファイルパーツ等個別にパーツが分かれており、自由に組み合わせてページ作成できること	推奨		
	35	パーツはドラッグ&ドロップ等の直感的な操作で、加除や並び順の変更ができること	推奨		
	36	PCから閲覧した際の生成後ページを直接編集するような感覚でページ作成画面を操作できること。	推奨		
	37	スマートフォンから閲覧した際の生成後ページを直接編集するような感覚でページ作成画面を操作できること。	推奨		
	38	各ページの定位置に、当該ページを作成した所属の情報（所属名・電話番号・問合せフォームへのリンク等）が自動的に掲載されること。	必須		
	39	同じページを更新して再度公開する際、以前公開していたページを最低3世代以上、過去の記録として管理できること。また、それらを再利用できること。	必須		
	40	同じページを更新して再度公開する際、以前公開していたページをすべて過去の記録として管理できること。また、それらを再利用できること。	推奨		
	41	ページ作成時または保存時にURLを任意に設定できること。設定しない場合はシステムが自動で割り振ること。	必須		
	42	画像や添付ファイル等のファイル名が不適切な表記である場合、警告を表示し、作成者に修正を促すこと。	必須		
	43	作成時に操作を誤った場合、当該操作を行う直前の状態に容易に戻ることができること。	推奨		
	44	作成途中のページを一時的に保存した上で、再ログイン後に作成を再開できること。	必須		
	45	ページ作成画面内に文字列の検索・置換機能があり、容易に文字列の検索・置換ができること。	推奨		

	46	ページ編集画面から入力データが失われる可能性がある画面へ遷移する際、そのまま留まるか、あるいは、遷移するかを確認するメッセージが表示されること。	推奨		
	47	CMS上で容易に表を作成できること。	必須		
	48	WordやExcel上のデータ（表を含む）をコピー&ペーストできること。また、不要なタグはペースト時に自動的に削除できること。	必須		
	49	WordやExcelからコピー&ペーストした表を再編集できること。その際、行や列の追加・削除、見出しセルの設定、幅の指定等が容易に行えること。	必須		
	50	文章にルビを振ることができること。	推奨		
	51	作成者・承認者・管理者自身が管理しているページステータス（作成中・承認依頼中・差し戻し・公開待ち）を一覧で表示できること。	必須		
	52	ページが差し戻された場合、差し戻し理由を確認できること。	必須		
	53	作成者は所属する部署で作成したページを抽出し、リストとして表示できること。	推奨		
	54	作成者は、管理しているページについて、更新前・更新後の内容の変更箇所を着色表示等により明確に比較表示できること。	推奨		
	55	作成者・承認者・管理者間でコメントをやりとり出来るメモ機能が設定されていること。（「〇月〇日に更新すること」等、作成者自身や引継ぎのメモとして活用することを想定）	必須		
	56	承認依頼中のページを作成者自身が承認キャンセルし、ページ内容を再編集できること。	必須		
	57	検索エンジン対策用のキーワードを設定できること	推奨		
	58	特定のページを容易に把握できるようにすべてページに通しを番号を設定し、ページ内の指定した位置に表示できること。	必須		
	59	CMS内を以下の項目で検索できること。 ・ページタイトル ・キーワード ・作成者 ・日付範囲 ・ステータス（承認状況）	必須		
	60	各ページに担当所属の問い合わせ先が自動表示されること。	必須		
	61	各ページに問い合わせフォームへのリンクを自動表示できること（メールアドレスを公開せずに担当課へ問い合わせできること）。	必須		
	62	ページ下部に利用者アンケートを設定できること。	必須		
画像	63	多言語でのページ作成が可能であること（多言語テキスト入力、lang属性設定等）。	必須		
	64	簡易な操作で画像の掲載、変更、削除ができること。	必須		
	65	CMSサーバー上に画像素材を配置でき、ページ作成にあたって、作成者が自由に利用できること。また、管理者がそれらの素材を追加、削除できること。	推奨		
	66	画像に説明やリンクを設定できること。	必須		
	67	画像に対する代替テキストの入力を必須とすること。また、未入力の場合は画像を表示できないこと。	必須		
	68	登録できる画像のファイル種別を制限できること。	必須		
	69	公開する画像のサイズや容量を制限できること。	必須		
	70	設定されたサイズを超過する画像を用いた場合、警告が表示され、修正が促されること。	必須		
	71	設定されたサイズを超過する画像を用いた場合、自動的に適切なサイズへと修正されること。	推奨		
	72	設定された容量を超過する画像を用いた場合、警告が表示され、修正が促されること。	必須		
	73	設定された容量を超過する画像を用いた場合、自動的に適切な容量へと修正されること。	推奨		
	74	画像ファイルにメタデータが残っている場合、警告を表示すること。また、メタデータの編集、削除ができること。	推奨		

	75	アップロードした画像が色覚多様性に配慮されているかチェックできること	推奨		
	76	クライアント端末にソフトをインストールすることなく、簡単な画像の編集（画像のリサイズ、トリミング等）ができる機能があること。	必須		
	77	編集を繰り返しても、画像が劣化しない画像編集機能であること。	推奨		
添付ファイル	78	複数の画像を容易にインライン挿入（文字と文字の間に挿入）ができること。また、表示位置、表示サイズの指定が可能であること。	必須		
	79	ページにWord、Excel、PDF等の各種文書ファイルをリンク掲載できること。	必須		
	80	リンクした文書ファイルの種類（Word、Excel、PDF等）やサイズが自動的に表示されること。	必須		
	81	添付ファイルの閲覧にソフトが必要な場合には、自動的に閲覧方法とダウンロード先が表示されること。	必須		
	82	文書ファイルにメタデータが残っている場合、警告を表示すること。	必須		
リンク	83	文書ファイルのメタデータの編集または削除ができること	推奨		
	84	内部リンク、外部リンクを容易に設定できること。	必須		
	85	ページ内リンクを容易に設定できること。	必須		
	86	外部リンクを設定した場合、リンク文字列の末尾に「外部リンク」との表示を自動挿入できること。また、当該表示を任意に設定できること。	必須		
	87	外部リンク先のページを表示する際、別ウィンドウで表示する設定ができること。	必須		
	88	公開前のページに対しても内部リンク設定ができること。	必須		
	89	新規に作成したページのアドレスが公開前に確認できること。	必須		
	90	公開されていないページに内部リンク設定した場合、当該リンク先ページが公開されるまでは、リンクが表示されないこと。	必須		
	91	文中リンク設定を不可とする等、内部リンク切れやリンク文字残りが生じない仕組みになっていること。	推奨		
	92	ページの公開前、公開後に関わらず、当該ページのURLに紐づく2次元バーコードをダウンロードできること。	推奨		
	93	内部リンク・外部リンクのリンク切れをチェックでき、作成者・承認者・管理者が確認できること。	必須		
94	内部リンク・外部リンクのリンク切れをページ単位でチェックでき、ページ内のどの部分にリンク切れがあるか視覚的に確認できること。	推奨			
アクセシビリティ及びチェック機能	95	ページを削除する際に他のページからリンクが設定されていないかチェックを行い、リンクが貼られていた場合は該当ページ一覧を表示できること。	必須		
	96	原則として、利用者がキーボード操作だけでサイトを利用できること。	必須		
	97	利用者のデバイスのユーザー補助機能（文字サイズの変更や文字色・背景色の変更等）や、アクセシビリティ支援ツールの動作を妨げないこと。	必須		
	98	一般的な音声読み上げソフトを利用して正しく読み上げられる構造でページを作成できること。	必須		
	99	ページ単位でアクセシビリティ上の問題を自動的にチェックできること。また、問題箇所を明示し、具体的な問題点や改善方法を表示できること。	必須		
	100	アクセシビリティチェック結果は、警告（必ず修正が必要なエラー）か、注意（必ずしも修正の必要はないが、確認を促すエラー）かが、わかるように表示できること。	推奨		
	101	警告に該当するエラーがある場合、エラーが解消されるまで承認申請ができないこと。	推奨		
	102	ページタイトルやファイル名に重複がないかチェックできること。	必須		
	103	ページ内の特定の表記を管理者が指定する表記に自動変換できる機能があること（「子供」から「子ども」への変換等を想定）。また、対象となる表記を管理者が任意に登録できること。	必須		
	104	リンクのタイトルに特定の表記が用いられた場合、警告を表示し、修正を促すこと（「こちら」、「こちらをクリック」等の表記を想定）。また、対象となる表記を管理者が任意に登録できること。	必須		

	105	スマートフォンからの閲覧時を想定し、表データの見出し行・列を固定した上でスクロールできること。	推奨		
	106	全角英数字を半角英数字に、半角カナを全角カナに自動置換できること。	必須		
	107	見出しの適否を自動的にチェックできること（見出し1の有無、見出し1→見出し2等の階層構造等）。	必須		
	108	画像内の文字色と背景色の組み合わせが、色覚に障害のある利用者にとって適切か否か確認できること。	推奨		
地図	109	表の幅をピクセル指定等ではなく、パーセント指定のみで設定できること。	推奨		
	110	ページ内に外部API（GoogleMaps等）を利用した地図を、緯度・経度情報の入力等HTMLソースを修正することなく容易に表示できること。地図には、任意の場所にポイントを表示できること（イベント会場の案内等を想定）。	必須		
	111	地図の縮尺や表示サイズ変更等が容易に行えること。	必須		
動画	112	外部APIの課金が発生しないこと。	必須		
	113	表示回数制限により地図が非表示にならないこと。	必須		
ページの公開・削除・再利用	114	簡易的な操作によってページ内に動画・音声ファイル添付できること。	必須		
	115	YouTube上の配信動画を埋め込み再生できること。	必須		
	116	作成者が公開を開始・終了する日時をあらかじめ設定することで、指定した日時にページを自動的に更新できること。	必須		
	117	公開期限を年月日に加えて、1時間単位で時間指定できること。	必須		
	118	公開期限を無期限とする設定ができること。	必須		
	119	ページ内に公開日又は最終更新日が自動的に表示されること。また、それらの日付を任意に設定できること。	必須		
	120	ページ公開時にパンくずリストやカテゴリー等にリンクが自動生成され、公開終了後はそれらが自動的に削除されること。	必須		
	121	ページを公開サーバーから削除する際、関連するカテゴリーページや他のページに表示されたリンク等が自動的に削除されること。	必須		
	122	ページを公開サーバーから削除する際、HTMLファイルだけでなく、付属する画像ファイルやPDFファイル等も同時に公開サーバーから自動的に削除されること。	必須		
	123	ページを公開サーバーから削除する際、対象の画像やPDF等のファイルが削除対象ではない他のページからリンクされている場合、サーバー上に残せること。	推奨		
	124	公開を終了したページを再利用できる状態でCMSサーバーに保存できること。	必須		
プレビュー	125	CMSサーバーに保存されているページを複製し、新規ページを作成できること。	必須		
	126	公開を終了したページの一覧を表示でき、それらを一括して、または、任意に選択してCMSサーバーから削除できること。	必須		
	127	ページの公開イメージを、作成・承認の各段階で容易にプレビューできること。	必須		
	128	未来の日時を指定した上で、当該時点での各ページのプレビュー内容を確認できること。	推奨		
	129	PC・スマートフォンからの閲覧を想定したプレビュー内容をそれぞれ参照できること。	必須		

## 自動更新、自動生成機能

区分	No.	内容	重要度	記入欄	備考
新着情報	130	ページ作成時、指定する新着情報エリアへの掲載有無を設定でき、当該ページが公開されるタイミングで自動掲載されること。	必須		
	131	新着情報に掲載した情報は、掲載した日付の降順で自動的に表示され、表示しきれない情報は一覧ページに別途表示できること。	必須		
	132	新着情報一覧ページに表示する件数と表示範囲（入力された日数以内に公開されたページを対象範囲とする）を管理者が任意に設定できること。	推奨		

	133	新着情報に表示するタイトルを、ページのタイトルとは異なる表記に設定できること。	必須		
RSS	134	サイト全体あるいはカテゴリごとの新着情報を、RSSフォーマットで出力できること。	必須		
	135	管理者が指定するページに、外部サイトからRSSで配信される情報を表示できること。	推奨		
イベント情報	136	管理者が指定するページにイベントカレンダーを設定できること。	必須		
	137	ページ作成時にイベントカレンダーへの掲載有無を設定でき、当該ページが公開されるタイミングでイベントカレンダー上に自動的に掲載されること。	必須		
	138	イベント開催日は複数日指定や期間指定ができること。	必須		
	139	イベントカレンダーを開いた当日に開催しているイベントを目立つ位置にわかりやすく表示できること。	推奨		
	140	カレンダーの表示方法を「カレンダー形式」や「リスト形式」等のように利用者が任意に選択できること。	推奨		
	141	申込締め切り設定を行うことで、締切間近や募集終了済みのイベントとしてイベントカレンダー上に表示できること。	推奨		
	142	日付やカテゴリ、施設やキーワード等、イベントページ上の情報を指定することで、イベントの詳細検索ができること。	推奨		

## 管理者の管理機能

区分	No.	内容	重要度	記入欄	備考
基本機能	143	管理者は利用者に対して管理者からのお知らせを掲載できること。	必須		
	144	ページ作成画面上に操作マニュアルを表示できること。	必須		
	145	管理者のみがログインでき、作成者・承認者はログインできないメンテナンスモードがあること。	必須		
	146	トップページ等は、HTMLやCSSの知識がない職員でも、画像差し替え等の軽微な修正ができること。	必須		
	147	管理者は、サイト内のすべてのページを編集できること。	必須		
	148	管理者は、すべてのページを承認ルートによらないで即時公開できること。	必須		
	149	管理者は、指定したユーザーに即時公開のための権限を与えられること。	必須		
	150	管理者は、すべてページの情報（ページタイトル、ディレクトリ等）をCSV等に出力できること。	必須		
	151	管理者は、カテゴリの追加・変更・削除、ページの振り分けができること。	必須		
	152	管理者は、入力禁止文字の登録・変更・削除ができること。	必須		
ユーザー管理	153	管理者は、ユーザーの登録・更新・削除を行えること。	必須		
	154	管理者は、ユーザーの操作権限・ID等の管理ができること。	必須		
	155	管理者は、登録済みのユーザー情報をCSV等に出力できること。	必須		
	156	管理者は、CSV等によりユーザー情報をCMSに取り込めること。	必須		
組織管理	157	管理者は、ユーザーの操作履歴（ページの公開・削除、操作日時・操作者・操作ページ・操作内容等）を確認でき、CSV等に出力できること。	必須		
	158	管理者は、組織情報（所属名、問い合わせ先情報等）の管理ができること。	必須		
	159	管理者は、登録済みの組織情報をCSV等に出力できること。	必須		
	160	管理者は、CSV等により組織情報をCMSに取り込めること。	必須		
	161	管理者は組織改正によるユーザー情報、組織情報の情報更新を事前に予約でき、指定された日付で変更内容を適用できること。	推奨		

テンプレート管理	162	管理者は、組織改正時にページの部署情報の紐づけ（ページ管理権限や問い合わせ先表示の変更等）を容易に行えること。	推奨		
	163	管理可能なテンプレート数に上限がないこと。	必須		
	164	あらかじめ設定された項目に入力するだけで、作成者が容易にページ作成を終えられる定型的なテンプレートを管理者が作成・管理できること。（イベント用テンプレート、パブリックコメント用テンプレート等を想定。）	必須		
緊急時対応	165	管理者が、テンプレートの改修を容易に行えること。管理者で行えないシステムの場合は、保守・運用の中で対応すること。	必須		
	166	災害や断水等の緊急時に、トップページの目立つ位置に災害情報を掲載できること。	必須		
	167	大規模災害等の緊急時向け等に、アクセス負荷を軽減するため、テキストデータを中心とする容量の小さい災害時用トップページに切り替えられる機能があること。なお、災害時用トップページはあらかじめ作成しておくこと。	必須		
	168	管理者が簡易な操作で災害時用トップページに切り替えられること。	必須		
バナー広告	169	管理者は、指定したユーザーに災害用サイトを即時公開するための権限を与えられること。	必須		
	170	トップページ内の本市が指定する位置に、複数のバナー広告を表示できること。	必須		
	171	トップページ以外のページ内の本市が指定する位置に、複数のバナー広告を表示できること。	推奨		
	172	管理者が、容易な操作でバナー広告を管理・掲載・削除できること。	必須		
	173	掲載期間を設定することで、あらかじめ登録しておいたバナー広告を自動的に掲載開始・終了できること。	必須		
	174	バナー広告の表示数を、管理者が容易に変更できること。	必須		
	175	画像データは、JPEG、GIF及びPNGが使用できること。	必須		
	176	バナー広告の空きスペースには、「募集中」等の画像を表示できること。	必須		
	177	バナー広告のクリック数をカウントできること。	必須		

## 承認ワークフロー

区分	No.	内容	重要度	記入欄	備考
基本仕様	178	作成者が公開申請を行うと、承認者、管理者の順に承認フローが移る設定ができること。	必須		
	179	管理の対象ごとに異なった承認ルートを設定することができること。	必須		
	180	管理者・承認者は、自身が承認すべきページを一覧で確認できること。	必須		
	181	管理者は、承認ルートの変更や追加を容易な操作で行えること。	必須		
	182	管理者は、すべてのページの承認状況を確認できること。	必須		
	183	管理者・承認者は、承認依頼を受けたページに対し、アクセシビリティチェックやプレビュー確認を行えること。	必須		
	184	管理者・承認者は、必要に応じてページの差し戻しができること。差し戻しの際には、理由を入力できること。	必須		
	185	ページを差し戻した場合には、メール等により作成者に通知できること。	必須		
	186	管理者・承認者が承認する際に、更新前・更新後の内容の変更箇所を着色表示等により明確に比較表示できること。	必須		
	187	上記について、過去の任意の改訂履歴を選択して比較表示できること。	推奨		
188	承認者・管理者は、承認依頼を受けたページを上書き編集できること。	必須			

## データセンター

区分	No.	内容	重要度	記入欄	備考
全般	189	データセンターは、ISMAP（政府情報システムのためのセキュリティ評価制度）に登録されており、かつ、ガバメントクラウドの対象となっているクラウドサービス（IaaS）を利用すること。ただし、ガバメントクラウドの認定において条件付きとなっているものについては、仕様書公開時点で条件を満たしていること。	必須		
	190	独立した仮想ネットワークを構築し、そのネットワーク内に自由に仮想マシンを構築できること。	必須		
運用環境	191	仮想マシンは、ハードウェア障害時に自動的に再起動する等の自動復旧機構が備わっていること。	必須		
バックアップ	192	最低 1 日 1 回スナップショット等でバックアップを取得すること。なお、障害時の回復目標に対応したバックアップ手法を定めること。	必須		
	193	バックアップデータは利用者に影響の少ない深夜帯に取得し、日次2世代取得すること。	必須		
	194	バックアップデータは、地理的に分散された最低 2 つのデータセンターに複製保存すること。	必須		
脅威検知	195	クラウドサービスの操作や仮想マシンに入出力される通信トラフィック等から、異常な操作や脅威検出が可能なこと。	必須		
プラットフォームセキュリティ	196	クラウドサービスの設定変更等の重要な操作は、IP アドレス制限等により、サービス提供者事業所からのみが行えるように制限されていること。	必須		
パフォーマンス計測	197	仮想マシンの CPU 使用、メモリ使用、ディスク使用、ネットワーク I/O、ディスク I/O 等のリソース使用状況を最低 12 か月保存できること。	必須		
	198	直近 60 日については最低 5 分毎のデータを保存できること。	必須		

## その他の機能

区分	No.	内容	重要度	記入欄	備考
サイト内検索	199	キーワード検索メニューを全ページの共通位置へ自動的に設置し、キーワードによる検索及び検索結果表示できること。	必須		
	200	サイト全ページを対象とする全文検索ができること。	必須		
	201	利用者が任意に選択するカテゴリだけを対象にした全文検索ができること。	必須		
	202	単語のみの検索だけではなく、自然文で入力した検索文をシステムで解析し検索結果を表示可能であること。	必須		
	203	自然文で入力した検索文は、文章を単語で区分しAND、OR、NOT等の演算子で、複数のキーワードによる検索ではなく、文章としての結果を表示できること。	推奨		
	204	文字面を直接的に含まない文章であっても、入力した文章に近い意味を持つ文書が検索結果の上位に表示されること。	必須		
	205	検索結果に対して日付や追加検索キーワード、カテゴリ指定等の条件で絞り込み検索を行えること。	推奨		
	206	PDF及びMicrosoft Officeで作成されたファイル内のテキストを検索できること。	必須		
	207	利用者の指定により、検索結果をPDFやMicrosoft Office等のアプリケーションファイルと、HTMLファイルとのファイル形式別に分けて表示できること。	推奨		
	208	検索結果に含まれるPDF、Microsoft Office等アプリケーションファイルへのリンクに、HTMLではないことを示すマークあるいはファイル名等を付与できること。	必須		
	209	検索にヒットした対象コンテンツの件数を表示できること。	必須		
	210	検索にヒットした対象コンテンツの要約をリンクと併せて表示できること。また、要約に含まれる検索キーワードがハイライト表示されること。	必須		
	211	検索にヒットした対象コンテンツのページイメージやPDFイメージをサムネイル表示できること。	推奨		



	212	新たに作成・更新されたページが、少なくとも1日1回、任意のタイミングで検索機能の対象として自動的に登録されること。	推奨		
	213	管理者向けに、検索キーワードの上位ランキング等、利用状況についての集計・レポートを行えること。	推奨		
	214	利用者が入力した検索キーワードの一部から検索キーワードを類推してキーワード候補を自動表示し、全て入力しなくても候補から選択できること。	推奨		
	215	利用者が入力した検索キーワードに関連性の高いキーワード候補を自動表示し、検索の支援を行えること。	推奨		
	216	アクセスログ等に基づき、検索に利用されることが多いキーワードを一覧表示し、利用者がクリックすることにより検索が行えること。	推奨		
	217	同義語辞書のメンテナンスを行わずとも、類似する内容の文書が検索結果に表示されること。	必須		
	218	職員が同義語辞書や検索結果等に対するメンテナンスを行わずとも、適切な検索結果が表示されること。	必須		
問い合わせ	219	各担当部署への問い合わせフォームや、特定の意見を募集するための専用フォーム（市長への提案フォーム等）を作成できること。	必須		
	220	問い合わせフォームで、入力不可とする文字が入力された場合、エラー表示されること（例：電話番号入力欄は数字のみ入力等）。	必須		
	221	問い合わせフォームで、入力エラーがあった場合に、利用者に対してエラー理由を表示できること。	必須		
	222	問い合わせ内容を受領した旨を記載したメールを送信者に自動送信できること。	必須		
	223	問い合わせがあった場合、担当所属に問い合わせがあった旨を通知するメールが送信されること。	必須		
	224	問い合わせフォームの利用者が入力内容を送信前に確認できること。	必須		
SNS連携	225	CMSからX（旧Twitter）への投稿が可能であること	必須		
	226	CMSからFacebookへの投稿が可能であること	必須		
	227	CMSからLINEへの投稿が可能であること	必須		
	228	投稿するSNSごとに、投稿内容を編集できること。	推奨		
	229	各SNSについて、画像が投稿できること。	必須		
	230	各SNSについて、画像を複数枚投稿できること。	推奨		
	231	SNSの投稿のみを行えること（ホームページへのページ公開を伴わない）。	推奨		
	232	複数のアカウント（3つのXアカウント等）との連携ができること。	推奨		
	233	LINEについて、本市が使用する管理ツール（KANAMETO）との連携によりセグメント配信ができること。	推奨		
その他	234	直置きコンテンツについて、管理者がFTPアップロード等により更新が行えること。	必須		
	235	リニューアルにより各ページのURLが変更になる場合、印刷物等からのリンク切れを防ぐため、市が指定するページについて、リダイレクト設定することができること。なお、リダイレクト期間は、令和8年3月まで可能なこと。	必須		
	236	防災行政無線と連携し、放送内容をホームページ上に自動表示すること。（現行システムでは、防災無線操作卓から出力されたxmlファイルをFTP転送することにより連携）	必須		
	237	川越市シティプロモーション特設サイト「コエドカラー」のフローティングバナーを各ページに設置できること。なお、テンプレート等により、フローティングバナーを設置しないページの作成も可能とすること。	必須		
	238	Google Analyticsを用いたアクセスログの集計が行えること。	必須		
	239	株式会社高電社が提供する「MyサイトAI翻訳」を導入し、130言語以上の翻訳機能を提供すること。	必須		